

平成30年1月9日
愛媛大学

シンポジウム 「大学交流が創るモザンビークの 持続可能な医食住の未来」を開催します

このたび、「日本とモザンビークの大学が織りなすグローバル・コラボレーション」と題して、シンポジウムを下記のとおりを開催します。

第3回目となる今回は、「大学交流が創るモザンビークの持続可能な医食住の未来」がテーマです。

愛媛大学がモザンビーク・サテライトオフィスを置くルリオ大学から Maura De Oliveira 農学部長を迎え、これまで愛媛大学とルリオ大学が協働しながら展開してきたグローバルな学術交流を紹介します。また、パネルディスカッションでは、めざましい発展を遂げるモザンビークとアフリカの未来づくりに貢献するために求められる地域に根ざした Local to Local な大学間協働の将来ビジョンについて議論します。

愛媛大学とモザンビーク・ルリオ大学との国際協働活動は、国内においても類稀なる国際大学間交流の形として高く評価されています。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日時：平成30年1月24日（水） 14：00～16：45（受付開始13：45～）

場所：愛媛大学城北キャンパス 総合情報メディアセンター1階 メディアホール

対象：一般の方、愛媛大学の学生・教職員

定員：約100人

言語：日本語

参加費：無料

参加申込：右記 URL を通じてお申し込みください→URL：<https://goo.gl/TT1Wdw>

駐車場：無（公共交通機関をご利用ください）

※伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約2分

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門守衛室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学国際連携支援部国際連携課

担当者名：岩田

TEL：089-927-9155

Mail：kokuki@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚（本紙を含む）

第3回

日本とモザンビークの大学が織りなす
グローバル・コラボレーション

フェス7
国立大学2017

大学交流が創る モザンビークの持続可能な 医食住の未来

主催：国立大学法人 愛媛大学国際連携推進機構・モザンビーク交流推進班
共催：一般社団法人 国立大学協会

2018年

1月24日 水 14:00-16:45

愛媛大学総合情報メディアセンター1F【メディアホール】
愛媛県松山市文京町3

第1部 愛媛大学とルリオ大学との交流



14:00~14:40

- ・開会挨拶：大橋 裕一 愛媛大学長
- ・開催趣旨：寺谷 亮司 愛媛大学モザンビーク交流推進班・班長
- ・交流の軌跡：小林 修 愛媛大学モザンビーク交流推進班・副班長

第2部 モザンビークの現状とルリオ大学の使命

14:40~15:10

「モザンビークの発展に資するルリオ大学の取り組み」

講演：Maura De Oliveira ルリオ大学農学部・学部長

第3部 モザンビークの医食住改善への挑戦

15:30~16:45

- ・医：工夫の共有と生活習慣の改善
- ・食：地域の分析と貢献のための基盤整備
- ・住：環境と安全への貢献
- ・総評：外務省、JICA



申し込み
お問い合わせ

愛媛大学 国際連携支援部国際連携課国際支援チーム
TEL：089-927-9155 FAX：089-927-8967
Email: kokuki@stu.ehime-u.ac.jp



申込フォームQRコード

愛媛大学キャンパスマップ（城北地区）

